

2050年 坂井市脱炭素ビジョン

海・川・里・山 すべての資源が活用され、地域に循環する脱炭素戦略

再エネ活用と地域内消費による農林水産業の活性化

食の地産地消



- ・スマート農業・漁業による所得率の向上
- ・地元産のものを地元で消費する

営農型太陽光発電



- ・営農型太陽光発電の実施により農家の所得率向上

産業部門の再エネ活用によるエネルギー代金流出抑制

風力発電



- ・地域で発電した再エネ由来電力を使用しエネルギー代金による所得流出を抑える
- ・水素やメタンなど新たなエネルギーの活用

特定事業所



太陽光発電



再エネ活用によって暮らしやすく災害に強いまち

家庭・事業所・公共施設



- ・PPA等を駆使した再エネ導入
- ・ZEH化・ZEB化・省エネ化
- ・次世代自動車の導入
- ・レジリエンスなまちづくり

家庭・事業所・公共施設等の取組

- ・再エネ導入+断熱性能の向上によりZEH、ZEB化
- ・再エネ由来電力、太陽熱利用、薪ストーブなどの再エネ由来エネルギーを積極的に活用
- ・次世代自動車とV2H等の活用により災害時も安心して暮らせるまちづくり
- ・公共施設のZEB化・省エネ化

バイオマスボイラー/薪ストーブ



- ・木質バイオマスを地域で活用しエネルギーを地産地消する

木質バイオマス



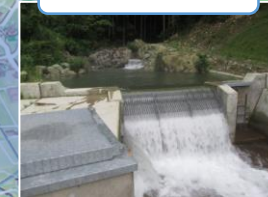
林業



森林資源の地域内利用による所得向上と資源循環

- ・森林の適正管理によるCO₂吸収量の増加
- ・木質バイオマスの生産
- ・地域産木材を活用した建築物の増加

小水力発電



- ・地域で生まれた再エネ電力を地域で利用

ちくちくぼんぼん



- ・域外からの校外学習の受け入れ
- ・「木育」による環境意識の向上

地域の人々が自ら主体的・能動的に脱炭素地域づくりを実践

内発的動機づけによる脱炭素地域づくりの実践

- ・地域の人々が自らの興味・関心・意欲(=内発的動機)によって主体的・能動的に地域課題の解決に取り組むことで、**持続可能で効果的な地域づくりを実践**することができる。
- ・地域づくりと併せて脱炭素の視点を持つことにより、**地域課題と脱炭素の同時解決**についてより広い視野で考えることができる。
- ・各コミュニティの人々だけでなく、市民・事業者・行政や地域内外などあらゆる人々と繋がり、**パートナーシップを形成して課題を解決**することができる

内発的動機づけ



- ・環境教育や脱炭素地域づくりワークショップによる内発的動機づけ

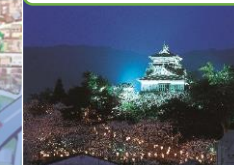
交通弱者や観光客も移動がしやすいまち

公共交通



- ・公共交通が活性化し、交通弱者のいないまち
- ・次世代自動車及びインフラの整備

観光地



- ・再エネ電力を活用した観光

観光客の流入による所得向上と関係人口の増加

- ・外からやってくる人にとっても魅力的なまち
- ・グリーンツーリズムの実施